

## 【経産婦】

### ○待ち時間

- ・ 8:00 頃には日赤医療センター医療に到着していたため、朝一番で受診することができ、待ち時間はそれほどなかった。
- ・ 1人目の出産の時は、予約の仕組みがなかったが、今回は朝1番に予約を入れると30分くらいの待ち時間で済んだ。
- ・ 1人目の（出産の）時は待ち時間がとても長かったが、今回はあまり待たされなかった。
- ・ 最初は1時間程度の待ち時間があったが、担当助産師と関わるようになってからは、それほど長く待つことはなかった。
- ・ 待ち時間は30分程度はあり、時間通りに健診が始まることはない。しかし、マザーケア外来で助産師と話をしていたので、それ程苦痛ではなかった。
- ・ 待ち時間は、助産師と話をして過ごしたため、あまり長くなかった。
- ・ 待ち時間は40分から1時間程度あったが、許容できる範囲内であった。
- ・ 待ち時間が長い。自分1人であればよいが、上の子は耐えることが出来ない。
- ・ 最初は上の子を無理矢理連れていったが、子ども連れで電車に乗るのは大変であった。

### ○担当医師との関係

- ・ 上の子は担当医になついていた。また、担当助産師に面倒を見てもらった。
- ・ 細かいことは担当助産師に相談し、医学的な問題はなかったが、担当医師にも十分に的確な対応をしてもらった。
- ・ 医師は同じ女性ということもあり、話しやすく、十分に話をきいてもらうことが出来た。ただ、担当助産師の説明が非常に詳しいので、聞くことがないくらいであった。
- ・ 医師と話したのは5分程度。ほとんどの疑問を助産師が解決してくれたので、医師に尋ねる程のことがなかった。
- ・ 医師や助産師には、自分の話を十分にきいてもらえた。
- ・ 検査については十分な説明を受けることが出来た。

- ・妊娠の経過、治療や検査については、十分な説明を受けた。
- ・経過が順調だったので、本来病院に行く時も、頻度を多くして訪問健診を受けた。
- ・病院での健診は、時間が遅れがちのため、次の人の順番が気になり、あまり細かい話ができない。

#### ○通院健診でのトラブル、課題等

- ・IDカードを忘れた時、別の医師の部屋に通されたことがあった。
- ・会計手続きで1時間くらい待ったことがあった。通常、日赤医療センターの支払は機械で行うが、訪問健診の料金は窓口で支払わなければならない。
- ・支払手続きについて、自動支払機が使用できず、受付で支払をしなければならぬため、予想以上に時間がかかった。
- ・事務員に愛想がなく、自営業に携わっている自分から見ると、笑顔が足りないと思った。
- ・予約の電話を15:00から16:00の間にしかかけることが出来ず、集中してしまうのでつながりにくい。

#### ○病院の設備等

- ・病院の設備は狭く、トイレの数が少ない。特に担当助産師と話をする場所が1つしかなく、また、そのスペースもカーテンで仕切られているだけのものとなっている。そのため、隣の話が耳に入り、落ち着かない。
- ・病院の設備がもう少しきれいだとよい。

#### 【初産婦】

#### ○待ち時間

- ・早朝を除いては1時間待ちの状況。
- ・待ち時間は、初診時は2時間程度と長かったが、その後は空いている時間に予約を入れたので、長くて20分程度。
- ・待ち時間の間は、担当助産師がついていてくれた。計測などを先にしていたので、それほど長く感じなかった。

#### ○担当医師との関係

- ・担当の医師は必要なことを要領よく述べるという対応。その分、詳しいことは担

当助産師から話を聞いた。

- ・ 医師には、質問したことにはきちんと答えてもらった。担当助産師とは話がしやすかった。
- ・ 担当助産師が来てくれたので、話がしやすかった。担当助産師に相談した内容は、医師にも伝わっていた。

○その他、医療職以外の病院の対応等

- ・ 事務職員は冷たい印象。

### 3. 出産から入院時

#### (1) モデル I

##### ①分娩時

分娩時には、配偶者や子ども等が立ち会い、また開業助産師と日赤医療センター助産師の両方が介助、立ち会いを行っており、既にお互いに知り合っている人の中で産むことができたという意見があった。また、モデル I の対象者の場合には、出産のスタイルや医療の介入についても独自の考えがあり、病院の方針が受け入れにくいということも懸念されていたが、多くの対象者が開業助産師のかかわりで、必要性を理解することにより、すんなりと分娩台を使用し、また医療処置についてもほとんど抵抗なく受け入れていた。

#### 【経産婦】

##### ○立ち会い者

- ・ 出産には、開業助産師、夫、上の子が立ち会った。担当医師は出産が終わった頃、分娩室に来てくれた。
- ・ 出産には、夫、上の子 3 人全員が立ち会った。上の子（長女）は普段とは違う様子で、おろおろして耳をふさいでいた。
- ・ 通常、病院では認められないことだが、特別に上の子（長女、長男）にへその緒を切らせてもらった。今回は最後の出産のため、ぜひ子ども達に切らせたかった。
- ・ 開業助産師と日赤医療センター助産師で介助をしてくれた。

##### ○分娩台使用の有無

- ・ 出産前は分娩台に乗らない、畳の上の出産も可能とのことだったが、子どもが大きかったので、途中で開業助産師に分娩台に乗るように言われ、指示に従った。分娩台のスペースはそれほど狭いものではなく、また、横向きになることも認められていたので、それほど苦痛は感じなかった。
- ・ バースプランでは、分娩台の上で出産したくない、帝王切開・会陰切開は何かあってもしてほしくない、産後早く退院したいということを希望した。結局、実際には分娩台を使用した。出産前に日赤医療センター助産師から連絡があり、分娩台を見せてもらったところ、乗ってもよいと思えるものだったのでスムーズに対応できた。

### ○処置内容

- ・途中で会陰が切れてしまったが、（縫合するのではなく）クリップで止めるという助産所のような処置をしてもらったのはよかった。

### ○出産の達成感

- ・出産の達成感について、当時の自分としては10点満点中10点。ただし、今になってみると、本当に自分の力で産むためにはもう少し体重管理などの努力が必要であったと思う。
- ・出産の達成感について、10点満点で表すと10点。イメージ通りの出産をすることが出来た。

### ○子どもとのかかわり

- ・1人目の出産は、訳の分からないうちに筋弛緩剤を投与され、「産ませて頂いた」という感想であるのに比較して、今回の出産は、大変ではあったものの、「自分で産むことが出来た」という実感があり、だいたい思ったとおりの出産が出来たと考えている。2人目ということもあるが、（上の子と比較して）子どもの考えていることがよく分かり、そのため、子どもも必要もなく泣いていることがない。これは、出産直後に母児が一緒にいたかどうか（カンガルーケアも含め）の違いによるものと考えている。

### ○病院という空間

- ・病院での出産は、全てが自宅出産とは異なる。病院は、全てが落ち着かない。出産に使用するもの全てが自分のものではないため、不安が増大した。
- ・病院の設備・環境からは、冷たい印象を受ける。分娩室はそれほど冷たい雰囲気ではないが、一歩外に出れば器具がたくさん置いてあったり、医師が歩いていたりするのでこわい。
- ・病院での出産は不安が多かったが、日赤医療センター助産師が、ひとつひとつ意思を確認しながら進めてくれたので、だいぶ不安が軽減された。

### 【初産婦】

### ○立ち会い者

- ・出産には、夫と日赤医療センターの師長が立ち会った。A助産師は出産の2～3分後に到着したので、立ち会ってもらうことは出来なかった。

- ・ 出産には、夫、B助産師、日赤医療センターの担当助産師が最初から立ち会った。もう一名の担当助産師は、最後の方になって現れた。産後の写真撮影は、3名の助産師と一緒にすることが出来た。
- ・ 出産時は、夫、母、A助産師、日赤医療センターの担当助産師2名が立ち会った。
- ・ 出産には、A助産師、日赤医療センターの師長、担当助産師、夫が立ち会った。出産する時になって、当直の医師が現れた。
- ・ B助産師と日赤医療センターの担当助産師が立ち会った。日赤医療センターの担当の助産師は、深夜2時か3時ころに来て、腰をさすってくれた。
- ・ 出産には、夫が立ち会った。担当医師は、途中様子を見にきてくれたが、手術中のため、他の医師が担当した。
- ・ B助産師にレメディーをどんどん飲ませてもらい、分娩時の体のつらさを解消した。妊娠の経過中は、自分でホメオパシーの知識を活用して、対応していた。

#### ○分娩台使用の有無

- ・ バースプランでは、分娩台を使用しない、和室の畳の上での出産を希望した。
- ・ バースプランでは、畳での出産を希望していたが、結局分娩台を使用した。分娩台には、すがりつけるところがあるので、事前に考えていたものより、使い勝手がよかった。日赤医療センターの分娩台は足を固定される形ではなかったが、同じ分娩台であっても、足が固定されているか否かで、出産の快適性は大きく異なる。
- ・ 出産は当初、畳がよいと思っていたが、点滴のルートもあり、分娩台の上で行った。クッションがあり柔らかくて良かった。
- ・ バースプランでは、フリースタイルでの出産を希望していたが、実際には分娩台を使った出産でもよかった。ただし、後半は自由な姿勢をとることが出来ず、仰向けになってしまったのは残念だった。
- ・ B助産師からは、出産は分娩台の上でなくてもよいが、処置は分娩台で行う必要がある、後から上がるのはつらいので、早めの方がよいと言われ、最初から分娩台を使用した。
- ・ ほぼバースプラン通りの出産だった。しかし、分娩時に子宮筋腫が破れてしまい、出血は多く（980cc）、収縮剤と鉄剤は使用した。

## ○処置内容

- ・ 出産の希望は半分くらいかなえられた。子どもが生まれた時に肺チューブで羊水を出したことや縫合は、バースプランと異なる部分であった。しかし、病院での出産であるために、しなければならないこともあるのだろうと考えている。残念な気持ちもあるが、大まかなところは希望通りであり、また、日赤医療センターのスタッフの間に、希望を取り入れようとする様子が見られたので、満足している。
- ・ 感染症にかかり、発熱したことに対する処置については、納得している。
- ・ 陣痛促進剤を使う等ということは、全く予想しておらず、苦しかった。A助産師と日赤医療センターの助産師はずっと、立ち会ってくれた。40週を過ぎたら、陣痛促進剤を使うのが日赤医療センターの方針だといわれたが、自然に陣痛が起きるのを待ってもらえなかったのは嫌だった。だが、そのままにしておくと、胎児に良くないことも起きたかもしれないと、納得はしている。
- ・ 自分は陣痛がない以外は健康なのに、出産前に入院しなければならないのが嫌だった。4人部屋だったが、点滴等をしていたり、泣いている人もいて、自分も悲しくなってしまった。
- ・ 最後のところで、「吸引しますがいいですか」と言われて、会陰切開、吸引を行った。当初、医療処置を希望していなかったが、無事に産まれたのでよかった。
- ・ 病院での出産を経験して、ぎりぎりのタイミングまで医療処置は行わず、助産師の介助を受けるだけでよいのではないかと思った。今回の医療処置は必要なものだったと納得してはいるが、一方で、もう少し頑張ることが出来たのではないかと考えている。

## ○出産の達成感

- ・ 「自分で出産した」という達成感について、10点満点で表すと10点。無事計画どおりに出産できた。ただし、出産時は、想像していた以上に余裕のない状況で（脱水機で絞られているような感じ）、事前に計画していたメニューをこなすことはあまり出来なかった。
- ・ 陣痛促進剤を用いたこと以外は、完璧だった。無事に「出してもらった」という印象。自分はひたすら痛みを耐えていた。スタッフには200点満点をあげたい。
- ・ 達成感を10点満点で評価すると、8.5点。マイナス分は、分娩監視装置を装着し

ていると、十分にいきめなかった分。

- ・吸引以外はイメージどおりの出産をすることが出来た。達成感を10点満点で表すと、7.5点。マイナスされた分は、自由な姿勢がとれなかったことである。

#### ○その他

- ・産む際の姿勢や薬、分娩台のこと等は、自分で本を読みあさって勉強した。

## ②入院

入院期間については、モデルIでは1～2日の入院で、以降は開業助産師のケアを受けたり、自宅に帰ることを想定していた。しかし、実際には、自宅分娩の経験がある1名の対象者を除き、多くが4～9日の入院期間となっている。

特に当初は、経産婦の方が、早期退院のニーズが高いと予想していたものの、「入院している時くらいしか休めない」等の理由で、長めに入院する傾向が見られた。また、初産婦の場合には、入院中に母乳ケアの方法等を助産師から学ぶことのメリットが強調されていた。

食事については、母乳育児に取り組みたいという対象者の中では、「母乳に適さない食事」という評価もあった。

	入院日数	出産経験
YSさん	4日	無
CMさん	4日	有
TIさん	2日	有
SYさん	9日	無
NFさん	10日	無
YKさん	6日	無
TFさん	7日	無

### 【経産婦】

#### ○褥棟でのケア

- ・褥棟では、乳房ケアが充実していた。日赤医療センターの助産師は、子どもがうまく母乳を吸えるようになるまで付き合ってくれた。
- ・母乳育児を行いたいのであれば、大変であっても、入院中にケアの仕方を教わってリズムをつくった方がよい。最初に育児のペースをつかめば、なぜ子どもが泣いているかも分かり、育児はそれほど大変ではない。

#### ○開業助産師とのかかわり

- ・入院中、1人目の時と同様、母乳が出過ぎて困っていた。日赤医療センターの助産師に「産後3日目までは母乳をしぼらない」と言われたが、判断に迷ったので、病院からB助産師に電話をかけてアドバイスを求めた。やはり、日赤医療センターの助産師より、B助産師の方が話しやすい面がある。

#### ○その他

- ・入院期間が短いので、子どもの健診だけはきちんと受けるように言われた。子どもの健診と母親（自分）の検査に問題がなければ、退院してもよいとのことだった。

#### 【初産婦】

#### ○褥棟でのケア

- ・産後の病室のサービスは良かった。夜中でも授乳ができる点が良かった。
- ・褥棟で、自分はA助産師の担当する妊産婦であると認識されていたためか、オムツの場所や消毒の仕方など、入院中の生活について説明がなくて困った。一方、A助産師が来るのかどうか、毎日尋ねられたので、対応に困った。
- ・褥棟の助産師は、皆やさしく、母乳指導に熱心だった。
- ・出産前は母乳は普通に出るものだと思っていたが、実際には非常に大変だった。その時、褥棟の助産師に根気よく、24時間体制で指導を受けられたのは良かった。
- ・入院中、24時間体制で誰かがいて、優しくしてくれた。
- ・満月近くになると助産師が忙しく、その日だけケアが行き届かないことがあり、同室の人が困っていた。
- ・褥棟の助産師はみな感じがよく、サービスには満足している。

#### ○開業助産師との関り

- ・入院中、A助産師が1回訪ねてきてくれて、授乳の特訓をした。
- ・入院中は、身体のダメージが大きく、余裕がなかったので、B助産師に連絡することが出来なかった。
- ・A助産師にはメールで連絡をした。

#### ○食事について

- ・食事について、産後は冷たいものは避けた方がよいと聞いていたが、病院では冷

たい牛乳やヨーグルトが出され、手をつけることが出来なかった。

- ・食事は、砂糖や乳製品（ヨーグルト）が多く、胸が張って困った。

#### ○その他

- ・出産の際、会陰切開は行わなかったが、会陰が切れて縫合を行ったため、薬を飲まなければならなかった。薬は嫌いだが、病院で出産したのだから仕方がないと考えている。
- ・入院中は4人部屋であった。初めての入院だったので、「入院とはこのようなものか」と特に不満は感じなかった。

## (2) モデルⅡ

### ①分娩時

経産婦、初産婦ともに、これまで対象者に関してきた助産師が立ち会うことで、安心できたという意見が多い。また、経産婦については、前回の出産よりも達成感が大きいという意見があった。別の病院で助産師として勤務していたという対象者からは、医療処置について、「医療介入は必須ではなく、ケース・バイ・ケースで対応すればよいと考えるようになった」という感想もあった。

#### 【経産婦】

##### ○立ち会い者

- ・担当助産師が2人で立ち会ってくれて、非常に有り難かった。
- ・今までの様子を理解している担当助産師が立ち会ってくれたことで、安心感があった。
- ・出産には、3人の担当助産師と夫が立ち会った。上の子は夫の実家に預けていた。
- ・出産には、担当助産師、および夫が立ち会った。Y助産師は最初から、N助産師は分娩室に入った時から立ち会ってくれた。
- ・担当助産師のほか、夫、実母、長男、実弟が立ち会った。
- ・バースプランでは、上の子を出産に立ち合わせることが希望していた。
- ・子どもの立ち会いは悩んで、日赤医療センターの担当助産師にも相談していたが、（実際の分娩の時には）子どもは真剣に見ていた。バースプランでは子どもの立ち会いと自分で取り上げたいと希望。その通りにさせてもらった。
- ・担当助産師2名が立ち会った。陣痛の間、担当助産師や医師がなかなか来てくれず不安だった。

##### ○分娩台使用の有無

- ・出産のスタイルは、分娩台の上で膝を立てて行った。
- ・バースプランで「その時とりたい姿勢で出産したい」と希望し、実際には横向きで出産した。分娩台はフラットにしてもらった。
- ・出産のスタイルは、当初の希望どおり、分娩台を使用した。上の子の時は、古いタイプの足を乗せる分娩台で嫌だったが、今回は、新しいベッドタイプの分娩台で出

産がしやすかった。

- ・出産には分娩台を使用した。出産前は畳を使用したいと思っていたが、分娩が早く進みすぎて畳に移動することが出来なかった。

#### ○医師、助産師等の対応

- ・前回、胎盤が残るトラブルがあったので、全て胎盤が出ていることを胎盤を見せながら説明をしてもらった。丁寧な対応で安心できた。
- ・モデル事業に関わる助産師は能力が高く、力の入れ具合の指示などが適切であったため、1人目の時よりやりやすかった。

#### ○出産の達成感

- ・1人目、2人目の時と比較すると、3人の担当助産師もいてくれて、納得のいく出産が出来た。そのような意味で、達成感を10点満点で表すと10点。
- ・出産は希望どおりに行うことが出来た。バースプランでは、早い段階で分娩室に入りたいと伝えていた。スタイルに関する希望は特になかった。カンガルーケアを行った。
- ・今回は、だいたいイメージどおりの出産ができた。
- ・前回に比べて、出産の達成感はある。10点満点で表すと10点。前は、分娩まで12時間もかかり、最後の方は朦朧としていてよく分からなかった。それに比べて、今回は、痛みは強かったが、子どもがおりてきた感覚がよく分かった。
- ・出産は、イメージしていたものより、ずっと痛かった。自分の好きなスタイルで出産してよいと言われたが、よく分からなかった。
- ・1人目と比べて、助産師と一緒に出産できたので、達成感がある。10点満点で表すと10点。今回の方が痛かったが、出産の実感、達成感がある。
- ・達成感は12～13点。妊娠中にむくみがでたのはつらかった。

#### 【初産婦】

#### ○立ち会い者

- ・担当の師長が間に合わなかったので、ほかの担当助産師が取り上げてくれた。助産師は、ずっと妊産婦についていなければならず、大変な仕事だと思った。
- ・陣痛室に入った時から出産まで、担当助産師と姉が立ち会ってくれたので、心強か

った。

- ・ 3名の担当助産師が立ち会った。

#### ○分娩台使用の有無

- ・ 出産のスタイルについて特に希望していることはなく、自然な流れで分娩台を使用した。
- ・ 色々なスタイルについて話はしていたが、結局、分娩台を使用した普通のスタイルで出産。

#### ○処置内容

- ・ (助産師とした) 勤務していた病院が、医療介入を比較的積極的に行う病院だった。最初は疑問を感じていたが、大変な出産を見ているうちに、何かあるよりは医療処置をした方がよいと考えるようになった。しかし、日赤医療センターの取り組みを見て、医療介入は必須ではなく、ケース・バイ・ケースで対応すればよいと考えるようになった。

## ②入院

入院については、モデルIの対象者と同様、想定よりも長い入院のケースが多かった。特に経産婦では入院期間が長いほか、上の子どもの訪問等も考慮し、個室を希望する傾向も見られた。食事は「おいしかった」という意見もある一方、「悪くはないが、病院食という印象は否めない」という意見もある。

	入院日数	出産経験
AKさん	10日	無
YTさん	7日	有
MHさん	4日	無
HSさん	10日	有
HNさん	8日	有
MTさん	4日	無
HKさん	9日	有
MNさん	6日	有
IAさん	6日	有
HYさん	6日	有
KKさん	6日	有

### 【経産婦】

#### ○褥棟でのケア

- ・褥棟では、時間にかかわらず、非常に丁寧なサービスを受けることが出来た。夜中でも乳房ケアをしてくれた。（自分の担当の助産師でなくても）どの助産師も気兼ねなく話をしてくれたのがよかった。日赤医療センターは、助産師の人数が多いので安心である。
- ・入院中のサービスについて、特に不満はない。
- ・褥棟では、母親と子どもの2人まとめてケアを受けるのだと思っていたが、実際には、それぞれ別の助産師からケアを受けるという体制だった。
- ・1人目の時は病院職員に何でもしてもらっていたが、授乳、おむつ交換など自分でしなければならず、大変だった。
- ・4人部屋では、子どもが泣いたら、部屋の外に連れ出して授乳しなければならず、大変だった。

#### ○担当助産師とのかかわり

- ・担当助産師は、入院中何度か部屋まで様子を見に来てくれた。

- ・担当助産師は、2日に1回くらい部屋まで様子を見にきてくれた。自分が眠っていたので、手紙を置いてくれた。
- ・担当助産師は、何度も部屋まで様子を見に来てくれた。
- ・担当助産師は、毎日部屋まで様子を見にきてくれた。

#### ○食事について

- ・食事については、病院の食事という印象は否めない。
- ・おやつが出る、食事の内容が選べるなど、1人目、2人目の時にはなかった新しいサービスが導入されていた。しかし、産後の食事が産前の食事のままになっていたため、変更のための用紙を提出したが、手続きに手間がかかり、実際に変更されるまで1～2日かかった。そのため、結局食事の内容が選べたのが1～2日のみだったのは残念だった。
- ・食事が美味しいともっとよい。
- ・食事はおいしかった。作ってもらえるだけでありがたかった。

#### ○個室の利用

- ・上の子が気兼ねなく部屋で過ごせるよう、また、見舞い客も子連れが多かったため、自ら希望して、個室を利用した。
- ・自ら希望して、個室を利用した。個室であれば、他の方を気にせずテレビを見ながら授乳することも出来、気がねなく過ごすことが出来る。また、今回は、上の子が遊びに来るため、個室の方がよかった。
- ・個室希望だったが入れず、3日目によく個室に入れた。

#### ○その他

- ・外来よりも褥棟の方がケアの質、「声かけ」の頻度が高いように思う。
- ・褥棟でのサービスには満足している。
- ・褥棟の助産師の対応はよかった。
- ・2人目、3人目の子どもは授乳も上手く行き、よく眠っていたので、暇だった。
- ・病棟の助産師があまり来てくれず、用があつて、自分から声をかけないと関わってくれないので、少し寂しかった。（自分は出産の）ベテランだから仕方がないのかと思った。

- ・4人部屋に入院していたが、サービスについての説明はほとんどなかった。助産師が皆、忙しそうだった。
- ・部屋があまりきれいではない。

### 【初産婦】

#### ○褥棟のケア

- ・授乳指導がよかった。助産師によって、指導の上手・下手があるが、色々な方のノウハウを教えてもらえたのはよかった。
- ・入院中は助産師が毎回異なり、あまり対応はよくなかった。書類のセットを渡されたが、記載方法等の説明がなく、姉や担当助産師に聞いて記載した。
- ・自分が助産師なので、自主性に任せてもらった。

#### ○担当助産師とのかかわり

- ・入院中も、担当助産師と面会。
- ・出産前後で対応する助産師が異なるが、連絡がきちんととれているので、特に問題ない。
- ・担当助産師が、部屋まで様子を見に来てくれた。

#### ○食事について

- ・食事は悪くはないが、授乳によいものという訳ではなかった。
- ・食事の内容は悪くなかったが、病院食という印象は否めない。

#### ○その他

- ・病室に洗面所がひとつしかなく、ベッドのすぐ近くに設置されているため、そのベッドに人がいる時は使いづらかった。
- ・インフルエンザにかかり、熱があったため、出産後個室に入らなければならなかった。個室は希望していなかったが、結果的には、個室の方が楽だった。

#### 4. モデル事業の費用の妥当性について

##### (1) モデルⅠ

モデルⅠでは、対象者全員が費用については「妥当」という評価だった。助産師の負担を考えると安いくらいという声もある。また、サービス全体を考えると今より「多少高くても仕方がない」「10万円くらい高くても仕方がない」という意見もあった。なお、モデルⅠの最初の出産例では、モデル事業用に算出した費用に誤りがあり、結果、想定よりも費用が高くなった例があった。このため、最初の出産例については、費用の妥当性の評価からは、対象外としている。

##### 【経産婦】

###### 1) 妥当

- ・実際の出産費用は、5日間の入院で35～36万円。

<根拠> 1人目の時（40万円程度）とあまり変わらず、納得できる水準。1人目の時と同程度の費用で、助産師の訪問健診や充実した乳房ケアを受けることが出来て満足。

=>安心して出産することができ、充実したケアが受けられるのであれば、費用は現在より多少高くても仕方がないと思う。

###### 2) 妥当

- ・最初費用の説明を受けた時は、日赤医療センターの料金は高いと思った。

<根拠> 1日で退院したということもあり、実際に支払った料金はそれほど高くはない。許容できる金額だった。

##### 【初産婦】

###### 1) 妥当

- ・モデル事業の費用については、どこで出産しても同じくらいの費用がかかっただろうと考えている。モデル事業のようなサービスが今より高額であるとしたら、仕方がないとは思いますが、なぜ出産費用がそれ程高いのか理解できない。

=>最近、出産にかかる費用の負担が大きい。少子化対策が必要なのであれば、5～10万円程度で出産できるとよいと思う。開業助産師への支払額は妥当であるが、助産師の負担を考えると安いくらい。

2) 妥当

- ・当初から妥当だと思ったとおり、最終的にも妥当な金額だった。

⇒費用が今より高くて10万円以内であれば、了解できる。他の医療機関にはもっと高いところもある。

3) 妥当

- ・通常の出産と同じくらいと聞いていたが、通常の出産より入院期間が短い分だけ、安くなった。

⇒日赤医療センターのサービスとしては、「まあ妥当」ではないかと思った。日本の出産費用は、医療保険が適用されないので、やはり高い。出産費用は国費で賄われる代わりに、必要のない医療介入は一切しないというような体制になるとよい。

4) 妥当

- ・分娩費用がだいたい35万円というのは妥当だと思う。授乳サロンにいつでも子どもを預けられ、助産師のケアが行き届いていることを考えると、十分だと思う。

## (2) モデルⅡ

費用については「妥当」という評価がほとんどを占めているが、「妥当」とは言いながらも、「病院の健診は色々な設備を使うので、費用が高くて仕方がない（が、訪問健診の費用はもっと安くてもよい）」といった意見や、「高い」という評価もある。高いという評価を下した対象者は、モデル事業の費用についてきちんと説明してくれる人がいなかったことをあげているほか、「リスクをとっているのは妊婦である（ので、もっと費用を安くしてよい）」という意見があった。

### 【経産婦】

1) 妥当。だが、もっと安くてもよい

- ・サービス内容と比べて、妥当。検査や入院期間など、自分で選択することによって、安くできるのではないか。

=>病院での健診は色々な設備を使うので、費用が高くて仕方がない。しかし、今後は助産師のサービスというソフト面を重視し、費用を高くしてもよい。

2) 妥当。

- ・通常の出産費用と同じ、あるいはエコーがない分若干安いくらいであり、全く問題ない。

=>担当助産師に訪問の時間を割いてもらっているので、割安感があり、申し訳ないくらい。

3) 妥当

- ・サービス内容と比べて妥当。
- ・もっと費用が高くなると限界を感じる。出産の安全性といっても多くの場合は何もおこらないので、もっと費用が安くてすむ助産所での出産を選ぶかもしれない。

=>1人目、2人目の時に比べて値段が上がっていたので「高い」と思ったが、担当助産師が自宅を訪問してくれることを考えると、妥当な金額である。

4) 妥当

- ・サービス内容と比べて、費用には満足している。日赤医療センターに通うより安く済み、それ以上のサービスが得られたと考えている。

5) 妥当

- ・サービス内容と比べて、料金は妥当。
- ・もう少し高額であるとしても、やはりサービスを受けるかもしれない。ただ、日赤医療センターの出産費用はもともと高めなので、許容範囲は、通常の出産費用くらいまで。

⇒日赤医療センターの安心感、利便性など、値段に代え難いものがあるもの理解している。

6) 妥当

- ・適当な価格だと思う。妹は、個人病院の方がもう少し安く、食事がおいしいと言っていた。

⇒最初4人部屋にいたので、費用が思っていたより安くなった。ただ、個室料金の体系が分かりづらかった

7) 妥当

- ・当初説明を受けた時点でも、今より高かったとしてもこのサービスを選んでいた。

⇒今より20万円くらい高くてもこのサービスを選んでいる。

8) 高い

- ・入院期間が長く、個室を利用したともあり、当初想定金額（40万円程度）より実際の金額（60万円程度）の方が高かった。モニターがない分、もう少し安くてもいいのではないか。訪問健診は、助産師の交通費を別途支払っていることを考えると、少々高い。

⇒モニターがない。訪問健診は、助産師の交通費を別途支払っている。費用について十分に説明してくれる人がいなかったことも、納得できない原因のひとつ。

**【初産婦】**

1) 妥当

- ・サービス内容と比べて、妥当。
- ・費用は安い方がよいものの、今回の値段より1割程度高くても許容できる。

⇒交通費は、自分が病院に通う場合でも同様にかかるので、自宅に来てもらった方が楽である。